

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立葛川小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

国語科では、全体的にしっかりと理解を深めることができている。漢字を文中で正しく使うことができたり、主語と述語の関係を適切に捉えたりすることができました。登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに正しく捉えることができました。

算数科では、数量関係を正しく式に表すことができました。また、図形に関する理解もしっかりとできています。「変化と関係」「データの活用」で誤答はありましたが、無回答はなく、粘り強く取り組むことができたと考えます。

また、児童質問紙からは、生活習慣が整い、規則正しく生活できていることがわかります。しかし、「友達関係に満足しているか」については「どちらかという当てはまる」との回答ですが、学級の児童数が1名のための結果であるとも考えられます。

《強み・弱み》

① 各教科

必要な情報を収集し、吟味し、自分の考えを加えたり深化させたりする力が育っています。その力は各教科の学習にも活かされ、国語科では極めて高い正答率として表れています。一例を挙げると、メモをどのように整理して活かし、説明しているかを正確に読み取ることができたように、思考・判断・表現に関し長けています。滋賀県平均及び全国平均でも、正答率が決して高くない設問も、正答することができました。算数科でもその特徴は表れており、五角柱の面の数を記し、そう考えた理由を底面と側面に着目して答えることができました。このように、2つの情報を組み合わせて考え、正答することができていると考えます。一方、速さと時間と道のりから、二人のうちどちらが速いかを考える設問では誤答がありました。「題意を読み取り、考える力を各教科で活かす経験」を今後も重ねていくことが大切です。

② 質問紙

起床時間や食事時間等、生活習慣が安定しています。また、「いじめはどんな理由があってもいけないこと」などの規範意識も確立できています。「人の役に立ちたい」という思いを持ち、「分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で考え、工夫することができる」と回答しました。これは、本校が大切にしているアントレナーシップ（起業家精神）に繋がる思いと力です。KCLプロジェクトでの体験学習を通じ、このような姿勢が育っていると考えられます。一方、設問39のように学級の児童数が1名のため学級会等の話し合い活動が少なくなりがちな面があります。5年生とともに意見をまとめていく場等も活用し、不足しがちな経験を補っていく必要があると考えます。

【指導の充実に向けて】

- ① 授業改善と指導力の向上を目指し、ICTを活用しながら、ユニバーサルデザインを意識した規律ある授業を推進します。
- ② 基礎学力の定着に向け、授業での「めあて」の提示、「振り返り」の実施を徹底します。
- ③ 少人数指導を活かした基礎・基本を徹底する授業や繰り返し学習を充実させます。
(授業での記述練習の機会を増やす。個人がしっかりと時間をかけて答えを導き出す課題を設定 等)
- ④ 「ふるさと未来科（KCLプロジェクト）」での体験学習において、将来の生き方について考える機会をもち、コミュニケーション能力を育て、たくましく生きる力を育てます。
- ⑤ 中学校との連携を充実させ、「ふるさと未来科」を柱とした、9年間の系統立った学びの場を確保していきます。